

# 議会だより



五色山公園上空から見る桜(内浦地区)：フォトイグル提供

## contents

- |        |             |             |              |
|--------|-------------|-------------|--------------|
| ◇トピックス | ..... P2~4  | ◇委員会報告      | ..... P14~19 |
| ◇採決一覧表 | ..... P5~6  | ◇トピックス／議会傍聴 |              |
| ◇質疑・討論 | ..... P6~7  | ／編集後記       | ..... P20    |
| ◇一般質問  | ..... P7~13 |             |              |

第130号

## 平成29年度予算から主要新規事業を紹介

TOPICS

平成29年度当初予算決定  
総額97億1602万円（一般会計）

## ●保育所給食室のトイレ改修・屋上防水工事 3,198万9千円

食中毒予防のため町内全保育所のトイレの改修工事を行う。

また、高浜・青郷保育所に屋上防水工事を実施する。

高浜・和田保育所は改修計画があるため必要最低限度の工事となることを確認した。

## ●子育て世代包括支援センター開設に向けた施設改修等

妊娠から出産、子育て期までの包括的子育て支援体制が

構築される。（トピックス記事参照）

2,592万5千円

## ●青葉山麓研究所の薬草産地化推進事業補助金 5,125万円

青葉山麓の遊休農地などを活用し薬草の育苗センターと加工施設の整備補助を行う。

## ●白浜公衆トイレ改修工事 1,271万3千円

白浜海岸公衆トイレのバリアフリー化改修工事を行う。

## ●高浜消防分署改修工事 1,347万4千円

高浜消防分署の外壁タイルの改修工事を行う。

## ●除雪機購入 952万6千円

自主防災組織に除雪機を貸与するための9台分の購入費用である。

## ●高浜小学校体育館システム天井取替工事 5,948万5千円

地震発生時に体育館の天井材が落下することを防ぐために天井取替工事を行う。



## ●和田公民館建設工事 5億5,398万6千円

様々な人が集い、地域とつながる「まちの縁側」として新しく生まれ変わる。（トピックス記事参照）



## ●文化会館舞台吊物設備改修工事 4,773万6千円

30年以上経過した文化会館大ホール・小ホールの舞台吊物設備の改修工事を行う。

## ●福井国体プレ大会の開催経費 3億9,500万円

平成30年福井国体開催に向けて、平成29年度にプレ大会を開催する。

高浜町ではセーリングとトライアスロン競技が開催される。

（小幡憲仁）

## 新中央体育館建設状況視察



2月28日、完成間近の「新中央体育館」建設状況の視察を行なった。

誰もが快適にスポーツを楽しめ、避難時にも安心・安全が確保される体育館として、大勢の皆さんに利用して頂ける、価値ある体育館となっていた。当初、課題となった冷暖房設備も備えられ、4月16日の落成式に向け急ピッチの仕上げが行なわれていた。（井上順也）



写真左：アリーナ 写真右：1周185mのランニング走路(2階)

### 新中央体育館概要

- 延床面積(4,204㎡)
- バスケット2面、バレーボール3面、バドミントン10面
- 観覧席303席(エレベータ設置)
- ガス式冷暖房
- 駐車場210台

総事業費：17億6,400万円

主要な財源

国：サイクル交付金 6億6千万円

町：スポーツ振興繰入基金 1億円

整備事業起債 9億9千万円

### 中央体育館施設使用料(町内に住所を有する団体)

※[町内に住所を有する団体]の「空調使用料」に限り、平成31年3月31日まで、「1時間当たり1,500円」の使用料金とします。

施設	使用料	使用料	照明使用料	空調使用料
			「午前、午後、夜間」各1回に付き ※なお、「午前」は「9時～12時」、「午後」は「13時～17時」、 「夜間」は「18時～21時30分」の時間となっています。	
中央体育館	アリーナ全面	1,000円	400円	3,000円 ※
	アリーナ1/2面	500円	200円	
	アリーナ1/3面	400円	200円	
	アリーナ2/3面	700円	300円	
	全館	1,500円	使用に応じ徴収	使用に応じ徴収
	ランニングコース	無料	無料	—
	多目的室	1時間 100円	1時間 100円	100円

スポーツで健康増進と  
活気あふれる町に（4月18日）供用開始



## 原子力防災対策施設改修（青郷小学校体育館）



3月22日、原子力災害時に即時避難が困難な避難行動要支援者等を安全に避難させるため、青郷地区の青郷小体育館に、放射線防護機能を付加した一時的な屋内退避施設設置状況の視察を行なった。避難施設は、ドーム式エアシェルター 2基(120名)と発電設備からなる。

・費用／1億6048万8千円  
(10/10県補助)

ドーム式エアシェルター



尚、本施設と同様のエアシェルターを、新中央体育館にも29年度に設置される。・費用／2億300万円(10/10県補助)（井上順也）

## 機能が広がり和田地区発信の 公民館活動の発展が見込まれる

TOPICS

和田公民館は、旧公民館の解体工事に続き土地の造成も終了し、いよいよ待ちに待った槌音が聞こえてくる。

地区民に愛された桜の木を残し、駐車場も29台を確保。内部は調理室、茶室としても利用できる和室、誰もが利用できるサークルコーナーや多目的室など、様々な人が集い、地域

とつながる「まちの縁側」として、新しく生まれ変わる。6月頃から建設工事が始まり、約10か月の工期で平成30年4月のオープン予定。  
(大塚ひとみ)



### 和田公民館建設工事 いよいよ始まる



#### 【和田公民館建設事業費】 5億5,398万6千円

##### ●内訳

- ・工事監理委託料 1,236万6千円
- ・建設工事 5億4,162万円  
〔鉄筋コンクリート造2階建  
延床1,219.89㎡〕

##### ●主な財源内訳

- ・電源立地地域対策交付金 1億1,000万円
- ・電源立地地域対策交付金施設整備基金 4億円
- ・文化施設整備基金 1,000万円

## 妊娠から子育てまで切れ目のないサポートスタート!

TOPICS

高浜町では「高浜町子育て世代包括支援センター」を平成30年度から開設するため、施設改修等の整備に2,592万円を予算計上した。

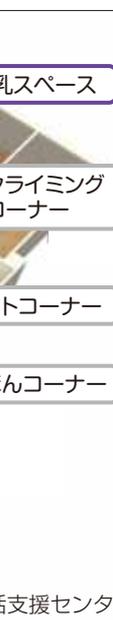
改修箇所としては、妊婦・乳幼児スペースの設置や、おむつ替え・授乳スペース、相談室や子供が遊べるスペースの設置など。週3回助産師も配置する予定。場所は高浜町保健福祉センター1Fチャイルドルーム及び多目的ホール。

妊娠から出産、子育て期まで、切れ目のない包括的子育て支援体制が構築され、子育て世代が子育てしやすい環境が整うことを期待する。  
(児玉千明)

妊娠から出産、子育て期まで、切れ目のない包括的子育て支援体制が構築され、子育て世代が子育てしやすい環境が整うことを期待する。  
(児玉千明)



### 子育て世代包括支援センター 開設に向け改修工事開始





## 3月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
承認第1号	専決処分の承認 [平成28年度高浜町一般会計補正予算 (第5号)]	予算決算	全員賛成で承認	P14
議案第1号	平成28年度高浜町一般会計補正予算 (第6号)	予算決算	全員賛成で可決	P14
議案第2号	平成28年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第3号	平成28年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第4号	平成28年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第5号	平成28年度高浜町介護保険特別会計補正予算 (第2号)	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第6号	平成28年度高浜町簡易水道事業特別会計補正予算 (第2号)	総務産業	賛成多数で可決	P16
議案第7号	平成28年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第8号	平成28年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算 (第2号)	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第9号	平成28年度高浜町公有水面埋立事業特別会計補正予算 (第1号)	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第10号	平成28年度高浜町水道事業特別会計補正予算 (第2号)	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第11号	平成29年度高浜町一般会計予算	予算決算	賛成多数で可決	P2,7,14,15
議案第12号	平成29年度高浜町国民健康保険特別会計予算	厚生文教	賛成多数で可決	P17
議案第13号	平成29年度高浜町国民健康保険診療所特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第14号	平成29年度高浜町後期高齢者医療特別会計予算	厚生文教	賛成多数で可決	P17
議案第15号	平成29年度高浜町介護保険特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P17
議案第16号	平成29年度高浜町簡易水道事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第17号	平成29年度高浜町公共下水道事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P16
議案第18号	平成29年度高浜町集落排水事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第19号	平成29年度高浜町宅地分譲事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第20号	平成29年度高浜町水道事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P16
議案第21号	高浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第22号	高浜町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第23号	高浜町一般職の職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第24号	高浜町庁舎建設基金条例を廃止する条例について	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第25号	高浜町用品の集中購買調達基金条例を廃止する条例	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第26号	高浜町公有水面埋立事業特別会計条例を廃止する条例	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第27号	高浜町町税条例等の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P16
議案第28号	高浜町農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定	総務産業	賛成多数で可決	P16
議案第29号	高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	総務産業	賛成多数で可決	P16
議案第30号	高浜町水難救助員設置条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第31号	高浜町公有浜地使用条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第32号	城山駐車場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第33号	高浜町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で採択	P17
議案第34号	高浜町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で採択	P17

次ページへ続く

前ページからの続き

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第35号	高浜町介護保険条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で採択	P17
議案第36号	高浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で採択	—
議案第37号	高浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに高浜町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で採択	—
議案第38号	高浜町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で採択	P17
議案第39号	高浜町海釣り桟橋施設及び遊歩道の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第40号	高浜町広瀬山自然公園オートキャンプ場の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第41号	はまなすパークの指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第42号	高浜町道路線の認定	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第43号	公有水面埋立免許の諮問に係る答申	総務産業	全員賛成で採択	P16
議案第44号	若狭広域行政事務組合の設立	総務産業	全員賛成で採択	P16
請願第1号	高浜原発の再稼働前に避難計画の実効性確保と住民説明会を求める請願書	原子力対策	賛成少数で不採択	P6
陳情第1号	原子力行政の充実と強化を求める意見採択	原子力対策	賛成多数で採択	P6
陳情第2号	合区解消に関する「県内の地方議会及び、県内地方4団体に対する働きかけ」	—	賛成多数で採択	P7
発議第1号	参議院選挙における合区の解消に関する意見書	—	賛成多数で可決	—
発委第1号	原子力行政の充実と強化を求める意見書例	原子力対策	賛成多数で可決	—

## 本会議での質疑・討論

### 質疑

#### 議案第11号

#### 井上順也議員

はまなすマラソン大会参加者の減少傾向の歯止め策はあるのか。

#### 町長

景観を活かし、走って楽しめる工夫で、増員につなげたい。

#### 小幡憲仁議員

保育所建替えなどの財政重要がある。基金積立をすべきでは。

#### 保健福祉課長

保育所建替えは、整備費用の財政見直し後に基金積立する。

### 質疑

#### 議案第44号

#### 栗野明雄議員

事務組合は、冷静な議論をする環境があるのか。

#### 町長

組合議員構成も平等になった。今後、事務方主導から脱却する。

### 討論

#### 請願第1号

#### 賛成討論 渡邊 孝議員

高浜原発30キロ圏の避難計画と、説明会を求めるものである。

#### 反対討論 山本富夫議員

既に高浜町では、再稼働前に実行されており、問題ない。

### 討論

#### 陳情第1号

#### 反対討論 渡邊 孝議員

危険な原子力発電にあくまでしがみつこうとするものである。

#### 賛成討論 山本富夫議員

請願5項目について、政府に強く改善を求める。

#### 賛成討論 井上順也議員

安全を第一に早期再稼働をすべき。避難者いじめは言語道断である。



## Q 高浜漁港再整備計画の進捗は

A 地元の理解、同意を踏まえた上で

磯部 武史 議員

**Q** 漁業関係者の同意を踏まえ、新たな漁協本所や荷捌き施設は塩土側に移転する計画と説明を受けた。地元の理解、同意を得るため努力していくというところで止まっているように思う。反対意見もあるようにだが、進捗はどうか。

**A** 塩土区に対し地元説明会を行った中で、強い北風と南風が吹いた時にはない。

漁船の着岸や離岸が困難であるという意見をいただいた。28年度には塩土側での着岸、離岸試験を行い現在集計している。漁協の運営面で、いかに対処できるか検討し理解を得ていきたい。

反対意見を押し切つて計画を進めるものではない。



高浜漁港再整備計画(案)

### 討論

陳情第2号

#### 反対討論

渡辺 孝 議員

合区解消では格差は広がる。比例代表選挙とすることである。

### 討論

議案第11号

#### 反対討論

渡辺 孝 議員

52%が原発財源。危険な原発の代償で、不健全な財政である。

### 討論

議案第1号

#### 賛成討論

磯部武史 議員

城山周辺再整備は、生活道路の規制が重ならない配慮を申す。

#### 賛成討論

小幡憲仁 議員

高浜発電所の安全対策で増えた財源を、子育て関連に投資した予算編成であり、評価する。

### 討論

議案第7号・17号

#### 反対討論

釣本首次 議員

雨水調整池は、必要最小限で良い、耐震性は過剰機能である。

#### 賛成討論

山本富夫 議員

同和対策予算は不要、原発財源は不健全とは、もつての外。

#### 賛成討論

磯部武史 議員

高浜駅前の冠水対策として、最も有効であると計画された事業。

#### 賛成討論

児玉千明 議員

予算計上&執行の上で、関係団体との協議を重ね、それを念押ししたうえで賛成。

# Q 町道事代坂田線の安全対策は



**A** 標示、標識設置を協議

廣瀬 とし子 議員



NPOおひさまの施設

**Q** 南山手線の交差点の湯谷側は、一旦停止の標識がなく、国道に急いで通行する車両を多く見受けける。通学道路であり、危険を伴う。標識を設置できないか。

**A** 現状の踏切と交差点との形状から考えると、通行に混乱をきたす可能性が高いため、標識の設置は難しい。

**Q** NPOおひさま施設について障害者の施設としては部屋が狭く、車椅子の移動時は大変困る。改善する考えはないか。

**A** 個々の児童に合わせ、他の公共施設等のスペースを活用するなど事業の円滑な実施をお願いしたい。

## ■学校教育について

**Q** 町内に就労する事業所が少ない。就労できる施設を設ける考えはないか。

**A** 施設の建設ではなく個々に相談に対応する。

**Q** いじめ、不登校問題はどのように考えているか。

**A** 学校内で、いじめ対策委員会を設け、いじめの未然防止等に関しての協議を定期的に行っている。

# Q 高齢化が進む中での除雪対策は



井上 順也 議員

**A** 共用除雪機の配置も行う



27号線沿の歩道

**Q** 高齢化が進む中で、除雪する方が少なくなっている。生活道路の除雪作業を迅速にできないか。

**A** 自主防災組織の共助による除雪作業を推進する。除雪機の貸与事業の実施と公民館への共用除雪機の設置も行う。

**Q** 久富自動車さん横の通学路は、狭く危険である。通学時間帯を一方通行にできないか。青郷地区の国道27号線沿いの一部の歩道は50cm位の幅しかない。拡幅はできないか。

**A** 一方通行化については、長期的に検証していく。青郷地区の歩道拡幅については、国土交通省が、29年度に用地測量の予算計上をするという。

**Q** 若者やインバウンドの方などのおもてなし施策の一環として、無料のモバイル充電スポットの設置ができないか。

**A** 観光協会を通じ、Wifiスポットと同様にステッカーの提供ができれば協議をしていく。

# Q 災害時における避難ルート等沿道の耐震化は

A 今後も住宅・建築物の耐震化を促進していく

西野 朋宏 議員



地震による倒壊家屋

Q 沿道の耐震診断や耐震化はどのようになっているか。  
A 「高浜町建築物耐震改修促進計画」に基づき、緊急輸送道路の沿道建築物の所有者に対し、県と連携しながら、耐震診断の実施を促し、耐震化を図るよう指導・助言している。

■水道管の老朽化について  
Q 40年を超える老朽水道管はどれくらいあるか。  
A 来年に排水管路の約59%、延長で59kmが布設から40年を迎える。災害時に拠点となる施設周辺道路など緊急性や重要性の高いものを優先的に進めていく。

■業務継続計画の確認について  
Q 業務継続計画策定の進捗状況は。  
A 新庁舎に移転したことから、職員参集計画及び拠点代替計画を見直し、行政データの保全や業務維持に必要なとなる電気等の確保計画など、防災計画との調整を図りながら検討を行っている。

# Q 若狭広域行政組合設立で一般ごみ施設の運営は公設民営(DBO)方式なのか

A 29年度管理運営について広域ごみ焼却施設の施設整備計画を策定する予定

山本 富夫 議員



近江八幡市環境エネルギーセンター(DBO方式)

Q 若狭広域行政組合設立における事業内容について一般ごみの広域化で施設の規模・場所・管理運営方式はどのように考えているのか。  
A 一般廃棄物のごみ焼却施設については若狭町から高浜町までの4市町をひとつのエリアとしてそれぞれ整備を進め処理・運営方式は、公設公営方式、公設民営(DBO)方式等、議会から提案いただいている方式も組上に挙げ、課題等を整理し、地域にあった方式の検討

を進めていく予定。

Q 除雪について多くの問題課題が見えたが対策は。  
A 改善点として除雪体制再構築・オペレーター増員と自主防災組織の活用。地元区へ排雪場所や仮置き場の提供についても事前に照会することも検討。役場の除雪機を有効に道路除雪に使っていく。JR湯谷踏み切り周辺の道路の融雪は、JR踏切改良の目的があり融雪を同時並行で検討して行く。



## Q 関西ワールドマスタースゲームズ大会でライフセービング種目の誘致を

A インバウンド観光に期待が持てる費用対効果の面から検討したい

小幡 憲仁 議員



誘致が期待されるライフセービング種目

**Q** 2021年に中高年者のスポーツ国際大会である関西ワールドマスタースゲームズが開催される。各国から多数の参加者が関西を訪れる。この大会のデモンストレーション種目にライフセービング競技を誘致すべき。

**A** 大会の正式種目は決まっているが国際ライフセービング連盟は積極姿勢である。インバウンド観光の機会でもあり、誘致に伴う費用面や実現性を調査検討したい。

**■高浜町式ネウボラの今後の取り組みについて**  
**Q** 平成30年度に開設する子育て包括支援センター（高浜町式ネウボラ）の取り組みを問う。  
**A** 保健福祉センターを改修し子育て包括支援センターを整備する。助産師や社会福祉士を雇用し相談体制を充実する。

**■障害者差別解消法の対応について**  
**Q** 高浜町の対応を問う。  
**A** 法に基づき職員対応要領を作成済。



## Q 今後の農業政策は

A 将来に向け持続的に発展して行く農業振興に取り組む

井ノ元 康夫 議員



耕作放棄地

**Q** 農林水産業どの分野も高齢化、後継者不足が問題視される中、農地では耕作放棄地の拡大や、獣害被害など解決されないまま事態は深刻な状態が続いている。

①今後の耕作放棄地問題②「ポストコシヒカリ」③担い手不足解消について問う。

**A** ①農業者の高齢化と後継者不足による労働力の不足、急傾斜が多い小区画による低い生産性など放棄地が増加する事で、獣害被害が増加している

事は承知している。担い手の育成と、地域性で有効利用を検討する。②十分な報告出来る段階ではないが、選任される「ポストこしひかりの生産者」の支援を行う。③当町の認定農業者は県内でも低い数値となっている。今後その育成と確保に取り組む。また現在の支援の制度を利用して頂きながら、機械購入補助についても要件を満たして頂ければ問題解決に向けて取り組む。

## Q 景勝を活かした公園整備計画の策定方針は

A 地域住民や事業者などが参画する協議の場を設ける

上尾 徳郎 議員



滑り台の撤去された城山公園

**Q** 城山・天王山の整備補修工事の概要は。

**A** 遊歩道利用者の安全確保の為に法面及び老朽個所の補修整備の測量設計・工事を行う。国定公園内で許可申請が必要の為、国県と協議し景観に配慮した整備を進める。

**Q** 城山荘・公園再整備計画基本計画策定の方針と漁港整備計画との関連は。

**A** 城山荘は公園全体から海沿いエリアへの広がりや町全体の経済発展に

も影響する事から、採算性のある事業化への視点で専門分野の助言を得ながら計画を進める。

公園整備は町内の公園の統合整備も含めて、景勝を活かしたランドマークとしての公園機能を利用者とともに検討していく。

漁港整備計画は海沿いエリアの賑わい創出において、密接な関係がある。今回は基本計画の策定で事業化移行は、漁港再整備の内容、進捗を併せ見て進めていく。

## Q 一次産業振興のキーポイントは何か行政マンの意識改革が必要ではないか

A 前例踏襲主義から考え方を变える必要がある

栗野 明雄 議員



磯枯れの状況

**Q** 一次産業の振興は大切だ。その中でも人の意識が肝心である。各論では漁業に関しては磯枯れ対策が必要である。

**A** まずビジネスになることが必要である。農業では景観形成も大事である。除草剤など海に流入する物の影響は、多面的に取り組んでいきたい。

**Q** 保健福祉課が新庁舎に入らないわけは。

**A** スペースがないこと

が一つ。現在の保健福祉センターの体制を維持したい。ワンストップサービスについては、職員が不便の無いように対応する。

■歴史遺産について

**Q** 県の無形文化財に指定されると、メリット・デメリットは何か

**A** 県から指導や助言を受けられるが、管理者独自の判断で実施できなくなる。

## Q 各海水浴場に対する予算は公平か



**A** ブルーフラッグ化に向けた  
予算計上、地域体制が重要

児玉 千明 議員



町民が声を上げるまで  
砂浜侵食が進んでいた若宮海水浴場  
(昨年時点)

**Q** 和田海水浴場がブルーフラッグ化となり、説明段階では高浜地区から徐々にブルーフラッグ化したいとの説明であったが、進捗状況や今後の方針は。

**A** 承認を受ける9年前から、地元資本や地域の体制が基盤になっている。和田地区を参考にした体制作りからやっていきたい。

**Q** 各海水浴場に対する予算の格差は、公平であるか。

**A** (予算の格差については答弁無し)ブルーフラッグ認証や継続を進める方針からの予算計上であり、城山では公園再整備、他の海水浴場においても地区の要望を元に予算を計上していく。

**Q** 町民要請への対応は適正になされているのか、なされていないように感じる。格差も感じられる。今後徹底してほしい。

**A** 海岸管理は県であり、要望があれば迅速に対応を要請していく。

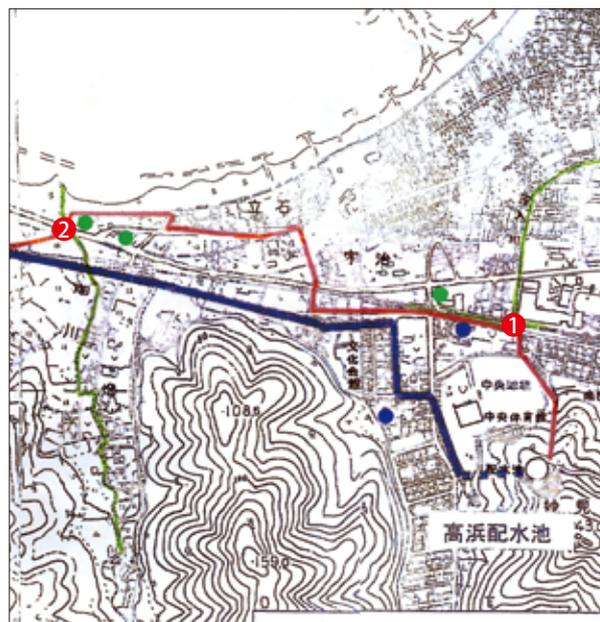
## Q 汐入雨水対策施設に約19億円かけるのは無駄



釣本 音次 議員

**A** 不要となる旧送水管を使う施工は、耐用年数と耐震性に問題がある

**Q** 赤いルートは、現在(平成29年3月)使用中の配管で青いルートは、新設中の配管で工事が終われば赤いルートは不要となる。この赤いルートを使って豪雨時に郷土資料館、新庁舎近辺等が冠水するのを防ぐため畑川に流す。見れば分かる様に赤いルートのすぐ近くに汐入川があり(赤丸①)ここにポンプを設置し、畑川の上に露出している箇所(赤丸②)を切断して畑川へ流せばよく既設配管を使うため簡素で工事費も安い。



送水管ルート図

**Q** 赤いルートは、現在(平成29年3月)使用中の配管で青いルートは、新設中の配管で工事が終われば赤いルートは不要となる。この赤いルートを使って豪雨時に郷土資料館、新庁舎近辺等が冠水するのを防ぐため畑川に流す。見れば分かる様に赤いルートのすぐ近くに汐入川があり(赤丸①)ここにポンプを設置し、畑川の上に露出している箇所(赤丸②)を切断して畑川へ流せばよく既設配管を使うため簡素で工事費も安い。

**A** 配管の耐用年数が来るのでそれを使用するのは無理。又、配管に耐震性がない。

現行の工事費は汐入1号(約15・2億円)、2号(約3・8億円見込)総額約19億円(見込)と膨大となる。現行の送水管の最大流量は340m<sup>3</sup>/hなのでこれを排水管として使えば汐入2号雨水調整池容量1000m<sup>3</sup>なら3時間で放水してしまふ。又、現行の方式では1000m<sup>3</sup>以上貯水できない。限界がある。

## Q 人口減少問題への具体的な取組みとその成果は

A 結婚祝い金などの制度創設や各支援により  
20～30歳代の女性の移住が増えた

大塚 ひとみ 議員



空き浜茶屋転活用事業で、大学生中長期滞在(和田ビーチ)

**Q** 人口減少問題は町民の様々な課題と関連する、大きな問題と捉えている。特に移住定住対策について2点質問する。

①「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して、1年半が経過したが、この問題への具体的な成果は。

②県の「福井版ワーキングホリデー」や「地域居住事業」と、今後どのように連携していくのか。

**A** ①ブルーフラッグ関係のPRやライフセイビング活動助成を実施した結果、全国的に注目され海水浴客の増加に繋がった。「健康の町づくり事業」、「移住定住総合バンクの運営」、また支援制度として「結婚祝い金」、「同窓会開催助成金」や「病児・病後児保育支援」で女性の転入超過となった。

②「和田de路地祭」や「空き浜茶屋の転活用事業」などで中長期の大学生受入れ実績がある。県の「幸福ふくいロングステイ推進事業」も活用し、連携して積極的に取り組みたい。

## Q 高浜2号機 クレーン倒壊事故の見解は

A 極めて遺憾

渡邊 孝 議員



クレーン倒壊状況

**Q** ①今年1月、高浜原発2号機の工事用クレーンが倒壊したが見解を問う。

②政府は、「高速増殖炉開発を断念した。国の原発政策の大転換と思うが見解を問う。

**A** ①事故、災害の未然防止のためのリスク管理が不十分であったと思う。再発の防止を強く申し入れている。

②政府は、「高速炉」の研究、開発は続ける方針であり、大きな意義があると考えます。

■子ども医療費窓口無料化について

**Q** 県は、平成30年度から子ども医療費の病院窓口での無料を実施するという。詳細は。

**A** 今後、県は医師会等、関係団体と協議していくことになっており、詳細はこれからである。

■「精神障害者保健福祉手帳」の交付について

**Q** 「精神障害者手帳」の交付は認知症も対象となる。その条件は。

**A** 主治医の判断と、県の判定による。税金の免除、医療費助成などのサービスがある。

# 平成29年度予算決定 97億1602万8千円

## 予算決算

### 常任委員会レポート

委員長 栗野 明雄



今年の積雪

◇3月13日(月)～15日(水)

#### ●承認第1号

この冬の積雪が多かったため、除雪費が増えたもので、1000万円を増額した。補正を組まなくてもいいような予算措置をするべきとの意見が出た。町が所有する重機を民間の土地の除雪にも活用できないかとの要望があった。

#### ●議案第1号

■平成28年度高浜町一般会計補正予算(第6号)

城山の工事で古いお堀の石垣があ

り、調査で工事が2か月遅れた。

姉妹都市の交流では今年はボリヨンのほうからお断りの返事があった。

福井和郷へは国・県・町から多額の補助金が支出されている。

建設工事に、地元企業が入れないのはどうだろうか。

金額的に安く入札しても断られている現状があることなど、福井和郷は地元企業として高浜町としっかり連携をしていくように強い要望があった。福井和郷の決算は単独決算であること・補助金分の減価償却にはルールがあることなどを確認した。

■新庁舎のAED設置について。

スタンド式の購入準備をしている。職員は、使用方法もマスターしておくべきだとの指摘があった。

■ふるさと納税の状況は。

5000万円の予算を組んだが、2000万円の結果だった。

#### ●議案第11号

■平成29年度高浜町一般会計予算

予算の総額は、97億1602万8千円と決まった。前年度より30・9%の減額となった。新庁舎公民館・中央体育館の完成によるものである。

#### 【総務費】

公有財産の取得では、新庁舎の駐車場用地の予算が付いた。

■新興住宅地の自治会の設立について

一つの区になって頂くことのメリットデメリットを説明し、区となって頂くようお願いをしていくとの方針が示された。

新庁舎でのWiFiでは、使い勝手が悪いとの指摘があった。

■職員のメンタルヘルスについて

産業医が面接をして行うとの事である。

新庁舎の自転車置き場の屋根は、現在進行中である。

オンデマンド交通は朝の便は定時運航のほうがいいとの要望があった。

姉妹都市交流事業では志賀町との交流をもっと進めるように要望があった。

#### 【民生費】

子宝手当として3歳になるまで、月5000円が支給されることになった。

食中毒予防のため保育所のトイレを改修することになった。

#### 【農林水産業費】

薬草栽培の産地化を図るため、薬草用育苗センター・加工施設ができるこ



お堀の石垣



イチゴハウス

ととなった。

【鳥獣害対策はいつまでやるのか】

適正な個体数になるまでやるとの答弁があった。

和田地係のイチゴのハウス栽培には、公募をし、審査の結果、町外の方に決定をした。高浜町に移住が条件。

【商工費】

青葉山の古代杉は現在調査中である。

【妙見山の整備について】

平成28・29年で完成させると回答があった。



七宝花紋縄手香炉

【土木費】

道路新設工事として、野原高浜港線と発電所との接続道路の設計費が計上された。

【消防費】

除雪機9台を購入し、自主防災組織に貸与し災害時の対応と地域防災力の向上を図ることとなった。

【教育費】

学校教育では縦・横のつながりを求める意見があり、学校教育の中で縦のつながりを作っているとの答弁があった。

【井上コレクションの活用について】

資料館に展示がしてあるとの答弁があった。



吉坂本堡壘

吉坂本堡壘については整備をするように要望が出された。

中央体育館のオープニングイベントでは、北陸高校と京都の洛南高校のバスケットボールの試合をするという計画である。

総括では青葉トンネルの実現に向けて期成同盟会を設立するべきとの要望が出た。

一過性のイベントはやめる選択もするべきで、費用・町民も疲れる。町長は理解するとの答弁があった。

**議会傍聴に  
お越しく下さい**



会議当日、議会事務局にて受付致します。  
事前予約は不要です。  
次回定例会は6月です。

<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>  
高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710



青葉トンネル

# 平成29年6月 若狭 広域行政組合スタート

## 総務産業

### 常任委員会レポート

委員長 山本 富夫



汐入2号雨水調整池建設予定地(郷土資料館駐車場)

◇3月16日(木)

#### ●陳情第2号

■合区解消に関する「県内の地方議会及び、県内地方4団体に対する働きかけ」

地方の声を十分通し反映させるためには合区は逆行し早期に解消すべき意見が出された。

●議案第6号・第7号・第8号・第9号・第10号

■平成28年度補正予算

雨水対策は旧送水管を利用し送水すべき、被害は19億の投資金額で賄うべ

き意見があったが、町民の兼ねてからの要望であり雨水対策は重要施策であるとの多数意見。

●議案第16号・第17号・第18号・第19号・第20号

■平成29年度特別会計当初予算

総額14億1357万5千円。

公共下水予算で雨水対策汐入2号調整池の流入方法は、自然流入でせせらぎランド耐震診断は国交省通達である。

#### 【案例関係】

●議案第21号・第22号・第23号・第24号・第25号・第26号・第27号・第28号・第29号・第30号・第31号・第32号

公務員育児休業等の改正。月額給料表改正。旅費規程で鉄道グリーン車、航空機等の規定について各等級で規定し近隣市町と共有し今後中身の検討する考え。新庁舎完成に伴う基金条例の廃止。集中購買変更による基金条例の廃止。公有水面施設整備完了に伴い繰上げ償還による条例廃止。軽自動車税の名称変更、環境性能割、法人住民税の住宅控除の適用延長を条例に定める。農業委員会法改正による委員会の定数を定め、報酬の一部改正で詳細は6月定例会で方向性が示される。水難救助員の町外者に委嘱可能な改正。浜地使用の管轄、利用料金等と使用期間は4月～9月までに前倒可となる。城山周辺再整備事業の推進に伴う、駐車場除却による条例廃止。

#### 【その他関係】

●議案第39号・第40号・第41号・第42号・第43号・第44号

海釣り桟橋及び遊歩道、広瀬山自然公園オートキャンプ場、はまなすパークの指定管理の指定。新県道畑若狭和田停車場線完成による町道園部(下道)

を町道に変更。内浦港港湾区域の音海地先公有水面埋立免許の埋立法による提案。本年6月1市3町による「可燃ごみ処理」に関する事務の共同処理する規約を定め若狭広域行政組合設立の提案。



内浦港 公有水面埋立事業(音海)



県道畑若狭和田停車場線

# 国民健康保険の広域化への準備は万全か

## 厚生文教

### 常任委員会レポート

委員長 廣瀬 とし子

◇3月17日(金)

●議案第2号  
 ■平成28年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

後期高齢者の支援金とは、国保税の中の支援金分と介護分と医療分の3構造になっている、その分の後期高齢者支援金並びに介護納付金の額の決定により、更生減額を行っている。

●議案第3号  
 ■平成28年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

ジェネリック医薬品については、平成27年度の途中から国の指導もあり和

田診療所では、ジェネリックの導入を進めている。診療報酬収入の不足額を国民健康保険特別会計繰入金を増額し調整を行なった。

●議案第4号  
 ■平成28年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

保険基盤安定負担金の決定等により後期高齢者医療広域連合納付金を計上する。

●議案第5号  
 ■平成28年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)

地域密着型介護サービス給付費が減

### 後発医薬品(ジェネリック医薬品)ってご存じですか?

後発医薬品(ジェネリック医薬品)とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。

- ポイント1 先発医薬品より安価で、経済的です。
- ポイント2 効き目や安全性は先発医薬品と同等です。
- ポイント3 欧米では幅広く使用されています。

ジェネリック医薬品の説明

額の内容は、3事業所のデイサービスを予定していたが、1事業所だけであった。

●議案第12号  
 ■平成29年度高浜町国民健康保険特別会計予算

国民健康保険制度改正に伴い、平成30年から県単位に広域化される。今後は県の運営協議会の中で、医療給付、町の所得構成、受診機関をそれぞれ査定する。

●議案第13号  
 ■平成29年度高浜町国民健康保険診療所特別会計予算

今年度の実績見込みにより診療所に必要な経費を計上する。診療所には医師2名、非常勤2名計4名である。

●議案第14号  
 ■平成29年度高浜町後期高齢者医療特別会計予算

保険料については2年ごとに改正が行われる。28年度、29年度は同額である、均等割が4万3700円、それと所得割という形で所得金額の7.9%が福井県の保険料として計算されている。

●議案第15号  
 ■平成29年度高浜町介護保険特別会計予算

4月から介護予防・日常生活支援総合事業として実施する通所型サービス給付費負担金等を含め地域支援事業費

に6900万円等近年の実績及び制度改正である。

●議案第33号  
 ■高浜町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

高浜公民館の設置に伴い、中央公民館としての役割を終える。

●議案第34号  
 ■高浜町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正する条例

高浜町立中央体育館の開館に向け、施設使用料等を定める。

●議案第35号  
 ■高浜町介護保険条例の一部を改正する条例

土地を譲渡した場合に生じる売却収入等長期譲渡所得等に係る特別控除額を用いる条例の改正である。

●議案第38号  
 ■高浜町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

主任介護支援専門員(主任ケアマネジャー)の更新制度が導入される。

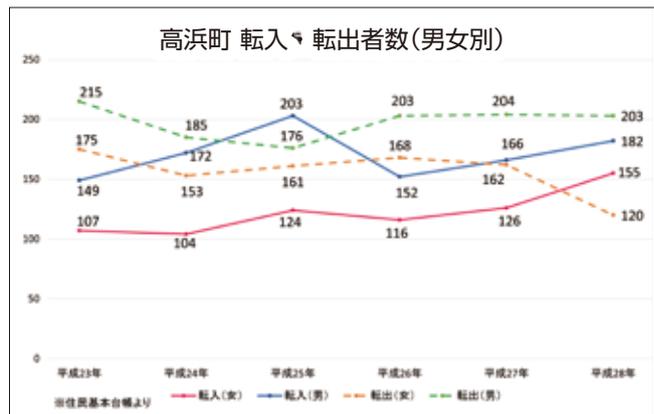


# 人口減少対策効果で流入人口増加に転じる

## 人口減少問題対策調査

特別委員会レポート

委員長 山本 富夫



高浜町の人口推移グラフ

◇3月21日(火)  
平成29年3月定例議会は、29年4月スタート予定の包括的地域連携協定概要の説明を受け、町内金融機関2行、2信金との協定を締結する目的について7つの連携項目について意見交換。高浜町の人口動態の変化について若い女性の移住者が増えているとの内容が示され、15歳～64歳までの女子が35人の転入超過となり26年ぶりに増加に転じたとの報告があった。

29年度の人口減少関連対策総額予算は3億6558万円となった。

最後に、2年間の審査を通して多くの理事者提案事業や委員からの提案など多岐にわたる分野での議論が交わされた。審議は会期内8回で25時間、閉会中審査4回で9時間と総審議時間は34時間の議論を重ね、理事者側とは中身の濃い審議時間を設けたことは大きな成果。対策事業も若い女性、子供たちへの支援は高浜ファーストとして人口転入超過となるなど徐々にその成果が見られた。同特別委員会としては、今後も人口減少対策を継続実施していくことを全員一致で確認した。

# 平成29年度鳥獣被害対策は

## 鳥獣害対策

特別委員会レポート

委員長 井ノ元 康夫



二番穂に誘引されたサルの群れ(小和田区)



町内サル群れ別の行動範囲

◇3月21日(火)  
当委員会では、平成29年度の被害対策と対策予算について担当課に詳細説明を求めた。被害対策事業の当初予算は、8781万9千円で、内容については以前実施した調査結果を重視し集落点検を行い、被害防御を強化し、町民の方への広報を行う。などの説明があり委員からは、「サル被害増加であるが、対策は」被害金額と対策費の整合性が取れているのか」などの質問に対し、大きい群れの行動範囲は広く、多くの被害が出ている事が確認出来ている。加害個体と考え、重点的に対策を行う。また被害金額については、農産物が集計した水稻栽培被害であり算出出来にくい物がほとんどで、今後現地調査、アンケート調査など現状把握を行う回答であった。

# クレーン倒壊事故を踏まえ安全対策を求める

## 原子力対策

### 特別委員会レポート

委員長 栗野 明雄

◇3月22日(水)  
 使用済み燃料対策について、原子力発電環境整備機構伊藤理事から説明を受けた。  
 高レベル廃棄物の最終処分地は、国が科学的有望地を提示し、状況を踏まえ、関係自治体に申し入れを行うことが示された。  
 万が一の事故の時は、国は関係法令に基づき責任を持って対処するということから、関係法令を内閣府田上専門官ら2名より学んだ。  
 災害対策基本法第三条では、国は組織及び機能のすべてを上げて防災



クレーン倒壊状況

に關し万全の措置を講じる責務を有する。このことを確認した。又、四条五条では、県及び自治体の責務を確認した。  
 その後、青郷小学校の放射線防護施設を見学した。  
 高浜発電所の現状は、1、2号の運転延長に向け理解活動対策を目的に体制を強化したことの報告があった。1月にタワークレーンの倒壊事故があり、状況報告を2回受けた。安全対策を十分に行い二度とこのような事故を起こさないように、住民の信頼と安心を得られるようになることを要請した。その対策では、クレーン対策にとどまらず、安全総点検・ゼネコンへの指導・リスク感受性の向上や安全文化の再徹底に取り組むなどの改善が示された。  
 原子力行政の充実と強化を求める意見書を採択し、国に提出した。

# 議員と語ろう会

議会をチェックするのはあなたです!!  
 批判や意見、提言など自由なご意見をお聞かせください。



**2会場同時開催**

**5/16(火) 19:30~21:00**

- 高浜公民館 2階会議室  
上尾副議長、小幡議員、大塚議員、児玉議員
- 内浦公民館 1階会議室  
横田議長、渡邊議員、磯部議員、井上議員

**5/17(水) 19:30~21:00**

- 保健福祉センター 2階大広間  
上尾副議長、山本議員、井ノ元議員、釣本議員
- 青郷公民館 第1研修室  
横田議長、栗野議員、廣瀬議員、西野議員



※どの会場でも自由にご参加ください。

# 福井しあわせ元気国体 2018

第73回 国民体育大会

織りなそう 力と技と美しさ



福井県では、昭和43年に「明るく、きよく、たくましく」をスローガンに、第23回国民体育大会を開催しました。この大会は人口百万人以下の県で初めて開催された大会として、県民一人ひとりに協力の精神と自信をもたらしました。そして、前回の開催から50年目に当たる平成30年に2巡目となる第73回国民体育大会(福井国体)が開催されます。



第23回開会式

第73回国民体育大会福井県準備委員会では、

- ①選手が躍動し、感動を生む国体
- ②県民が創り、楽しむ国体
- ③参加者のつながりを深め、福井の魅力発信する国体を目指して、「スポーツの感動を広め、未来へつなげる」

を目標としています。

◇プレ大会開催期間／

- ・トライアスロン：平成29年7月2日(日)
- ・セーリング：平成29年9月8日(金)～10日(日)

◇プレ大会競技会場／

- ・セーリング(成年男子・女子/少年男子・女子)  
：若狭和田マリーナ特設セーリング会場  
(若狭和田マリーナ、若狭和田漁港)
- ・トライアスロン(成年男子・女子)  
：高浜町特設トライアスロン会場  
(安土公有水面埋立地)

プレ大会は、第73回国民体育大会における競技会運営能力の向上を図るとともに、町民の国体に対する参加意識の向上と参加者をおもてなしの心で迎える機運の醸成を図ることを目的として行われる大会です。高浜町においては、正式競技であるセーリング及びトライアスロンのプレ大会が実施されます。

(西野朋宏)

福井しあわせ元気国体  
競技別プレ大会開催！



## 傍聴にお越しいただきました

高浜町婦人会の皆さまに議会傍聴にお越し頂きました。議場と傍聴席が近くなり、より親近感のある議会、バリアフリー化、明るくコンパクトな最新の設備が整った議場になったという声を頂きましたが、声の小さい質問や答弁が聞こえづらい点、傍聴席までテレビで映ってしまう点などのご指摘も頂きました。議会として真摯に受け止め改善していこうと思います。

お越し頂いた皆さまありがとうございました。

(児玉千明)

議会傍聴にぜひお越しください！



婦人会の皆さまと

## 編集後記

平成28年度を振り返ればブルーフラッグ認証後初めての海開きを迎え、若狭和田海水浴場だけで約2.6万人増え成果がみえるが、継続して取り組むべき事業で一喜一憂せずジックリ腰を据えてとりくんでいく事を期待したい。

新庁舎、新高浜公民館もスタート(平成29年1月4日)し、3カ月が過ぎ様としている。町民の皆様へのサービス向上に務め、親しまれ愛される役場であり公民館であってほしい。

高浜町にとって原発の存在は非常に重きをなす。高浜原発3、4号機の運転差止め仮処分(大津地裁平成28年3月9日)が大阪高裁により取り消された(平成29年3月28日)。

これ等に共通するのは「新たな局面を向かえた」のではないか。

### 広報特別委員会

文責 (釣本 音次)

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 井上 順也 |
| 副委員長 | 西野 朋宏 |
| 委員   | 小幡 憲仁 |
|      | 大塚ひとみ |
|      | 釣本 音次 |
|      | 児玉 千明 |